

けんぱくものしりシート

# おてだま



おてだまは、ちい ぬの ふくろ なか あずき だまなど い  
 小さな布の袋の中に小豆やじゅず玉等を入れたおもちゃです。  
 おてだまは おんな こ あそ  
 女の子の遊びでした。いくつかの玉を空中に投げて遊ぶ姿は、  
 まるで てじなし  
 手品師のようでもあります。おんな こ  
 女の子たちは最初はいきいきとできませんが、  
 かえ れんしゅう  
 くり返し練習するとある日突然できるようになりました。

## いろいろな形のおてだま



### おてだまの歴史

※かます…ワラで編んだ、米や塩などを入れる袋。

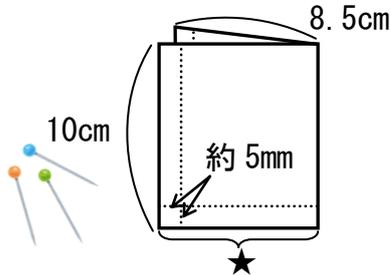
おてだまのルーツは奈良時代に中国から伝えられた、小石をつかった「石なご」という遊びだと言われています。石なごは身分の高い人の遊びでしたが、平安時代になると一般の人々にも伝えられ、日本各地に広がります。やがて、江戸時代後半には布で作ったおてだまが登場しました。



おてだまは おうち ぬの つか かあ  
 お家にある布を使ってお母さんや、  
 おんな こ じぶん つく  
 女の子が自分で作りました。ここで、おてだま  
 つく かた  
 の作り方のひとつをご紹介します。

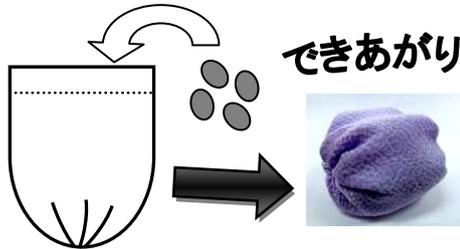
## つくかたがた おてだまの作り方 (たわら型)

① 長方形の布を半分に折り、点線をぬう。  
(★部分はぬったらぎゅっとしぼりとめる)



② ウラ返しにし、あずきなどを入れる。

点線をぬってぎゅっとしぼり、  
中に端を入れてとじる。



できあがり!



## かた おてだまのあそび方

●●●●● 投げ玉 ●●●●●

2個、3個あるいはもっと

多くの玉を両手に持ち、空中に投げてあやつります。



おてだまを歌にあわせて投げあげたり、  
取ったりして遊びます。



遊び方は大きく分けて2つあります。

●●●●● つき玉 ●●●●●

やや大きい親玉(1個)と小玉  
(5~6個)を用意します。

親玉を投げあげ、それが落ちてくる間に、床にばらまいた  
小玉を拾い集めて遊びます。



あなたのお家のおばあさんがおてだま名人かもしれません。おてだま遊びは脳を刺激して集中力があがるほか、最近ではお年寄りの認知症予防としても注目されています。大人や男の子でもぜひ一度遊んでみてくださいね。

参考 『お手玉 OTEDAMA』 文溪堂 1997年

『子どもに伝えたい伝承あそび一起源・魅力とその遊びかた』 萌文書林 2009年他

らいげつ (7月) の  
けんぱくものしりシートは  
ちしつ 地質-13だよ!  
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>